

庁舎移転・道の駅は再考を

計画どおり実行する



議員 照男 明神

問 庁舎移転と地震対策が34・4mの予測で崩れた。百余尺の津波の記録の歴史に学ぶ時と言って来た。

町長は一人の犠牲も出さずと言う。金が無いなら庁舎移転を延ばせば良い。今は生命を守るのに金を使う時。庁舎が人を救うのは生き残った後の話だと思うが、どうか。道の駅も来る人待つ商売は終わり、売りに行く時代。地震津波予測で民間には出来ない事業だが一階を駐車場にするなど浸水対策はあるのか。

答 大西町長

建設工事の期限や国道バイパス等で庁舎移転の延期は出来ない。道の駅も計画どおり平屋で行う。

高速道路

残土処理の安全性は調査も終えない問題ない

問 高速道路工事は約50万tの膨大な残土が出るが、処理場は水の多い谷だ。昔の廃棄物や土壌の汚染問題、汚水の水質検査も心配されるが、安全性に問題はないか。また各関係者への説明は十分か。

答 森田 建設課長

国交省中村事務所には、残土処理場から海までの下流域に、土砂の流出や汚水等で環

境汚染が起きないよう強く要望してある。土壌や水質については、地下水、地下の温度、ガスの調査など2年間かけて調査をしてきた。漁協や地元関係者には十分説明をしてきたと思うが、必要があればまた伺いたい。

原発問題

原発電気が要らない町をバイオマスも検討したい

問 原発の電気はいらぬ町づくりを言って来た。伊方原発は建設時に活断層が10km圏内にあることを無視してきた。津波の被害だけだと町の再生もできるが、原発被害は死の町となり、再生は難しい。原発再稼働について伺いたい。身近には節電の問題が出てくる。この議場も電灯を全部つけている。電気をこんなにつけて、原発反対と言っても駄目だが、町の節電対策はどうか。

また、風力、日光、水力のエコ発電を提案しても執行部は、昔の殿様で聞き置いただけ

答 大西町長

で計らいが無い。その点、構原町はエコ発電の売電でキロ当たり42円入る。その金は自分達が値上げで払った金。3月議会に町内の森林資源も聞いたが、エコ発電の取り組みは。

その他の質問

※ 中学の武道授業

ギョー政策などを真剣に考える契機とすべきだ。役場の節電対策は始業時間十分前点灯、昼休みの消灯、エアコン温度の適正化等。実施計画は今後検討したい。エコエネルギーではバイオマス発電を検討しているが、今後調査したい。

いそいで!!



入野地区の合同訓練に参加した中央保育所